



身延小だより

身延町立身延小学校 TEL0556-62-0066

令和元年7月19日 編集: 校長 佐野三代司

学校の理念「すべての子どもに笑顔あふれる学校をつくる」

充実し、安全な夏休みを。

「励まし」「見守り」をお願いします。

1学期が終わり、夏休みを迎えます。おかげさまで160人全員の子どもたちが、元気に1学期を終えることができそうです。



この4月以来、子ども達の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力いただきありがとうございます。ご家庭でも、通信表「あゆみ」を参考にされ、子ども達がより良く伸びる、励ましの材料にさせていただければと思います。

夏休みは、普段の授業がある時と比べて、自由になる時間が多くなります。夏休みだからこそのこともたくさんあるでしょうし、家族との思い出を作ることも良いでしょう。ただ時間を費やすだけというような過ごし方ではなく、自分で生活を組み立てていく経験が大切になります。生活の中にリズム、節目があるような日々になると良いと思います。学校からは、もちろん課題(宿題)も出ますが、ラジオ体操や地域の行事に積極的に参加するよう指導しています。

さて、夏休みの過ごし方といえば、思い出話があります。江戸時代の学者、新井白石のエピソード「一粒の米」の話です。真剣に勉強しなかった子どもの頃の新井白石が、父親から言われたことです。「米びつから米を一粒取っても、入れても量の

変化はわからない。一日勉強したから頭が良くなるわけでもない、一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と続けていれば必ず変化が見えてくる」という内容です。夏休みの期間はずっと短く30日あまりですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。得意な学習を伸ばす、苦手な学習を克服する、家の手伝いを決めて継続する、朝起きる時間を決めて規則正しい生活を続ける等々..。何か続けられるものを見つけ、この夏休み中続けられれば、必ず得るものがあります。継続できるものは、2学期が始まってからも続けられるとさらにすばらしいと思います。「継続は力なり」ですね。

子どもたちが何よりも楽しみにしている夏休みですが、この時期、子どもにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症等、残念ながら毎年、日本各地で発生しています。特にここ数年は、暑さが厳しく、熱中症が心配です。



これまで身につけてきた、規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験が2学期からの学校生活を充実させる原動力になることを願っています。

ご家庭で、地域で、子どもたちを見守り、支えていただき、充実した安全な夏休みが過ごせますようご協力をお願いいたします。



朝の活動で、ラジオ体操に取り組みました。

夏休み期間

7月24日(水)～8月25日(日)

8月26日(月)が2学期始業式です。

「命を守る救急救命法講習会」 ～授業参観・PTA

ありがとうございました。～

7月3日(水)に授業参観・救急救命法講習会・学年PTAを開きましたところ、大勢の保護者の皆さんに参加していただき、ありがとうございました。例年この時期に、多くの学校で行われている救急救命法講習会ですが、本校では、PTA保体部の主催で、授業参観にきていただいた全保護者の方々を対象として実施しています。今年は、73名の方々に参加していただきました。また、講師を務めていただいた峡南消防本部中部消防署からは、11名の職員の方々が来てくださり、とても立派な講習会となりました。最近、水の事故以外にも、様々な場面で、家族や周囲の方々の命を救急隊が到着するまでつなく、心臓マッサージやAEDの活用が注目されています。講師の方々、参加したみなさんの熱心に取り組む様子がたいへん印象的でした。



子どもたちもとても楽しんでいるようです。

また、6月21日は、町立図書館のボランティアの皆さん



「ぶっくん座」の方々によるお話会が開かれました。毎年、この時期に子どもたちのために来校してくださっています。お話ばかりでなく、歌や手遊びを取り入れて、1年生から6年生までが興味をもって聴けるようなプログラムが用意されていました。あっという間の1時間でした。まもなく始まる夏休みが、子どもたちにとって読書を楽しめる時間になればいいなあ、と願っています。



「七夕かざり」に 子どもたちの優しい気持ち



季節の行事「七夕」をむかえ、七夕飾りを作った学年があります。願い事を記した短冊には「べんきょうができるようになりたい」「ケーキやさんになりたい」等々、子どもらしい願い事がぎやかに飾られていました。そんな中に「かぞくみんなが、びょうきになりませんように」「みんなが、たのしくあんぜんにすごせますように」と、家族思い、友だち思いの優しい願い事が目に留まりました。子どもらしい優しい気持ちに、心が温かくなりました。



「ぶっくん座お話会」 「読み聞かせボランティア」を 読書を楽しむきっかけに

保護者の方、地域の方による、「読み聞かせボランティア活動」を始めていただいています。6月19日からスタートし、3月までの全8回にわたり、朝の活動の時間を使い、9名の方々に活躍していただいています。子どもたちにとって、お母さん方からの読み聞かせはとても新鮮です。読み聞かせてもらう本の種類もバラエティに富んでいて、

